

ハローシニア佐倉

2026年 5月号

異國の方々にも親しまれた

ひな祭り

Page.1

志津北・南地区合同
「地区研修会」を実施

Page.2

佐倉市民カレッジで
「シルバー人材センター紹介」
の講演を実施

Page.3

接遇研修を実施しました

Page.4

千成自治会活動のご紹介

Page.5,6



公益社団法人

佐倉市シルバー人材センター

〒285-0025 千葉県佐倉市錦木町198番地2

レインボープラザ佐倉 2F

電話：043-486-5482(代) FAX：043-486-5419

メールアドレス sjcwork@sakura-sjc.sjc.or.jp

ホームページ <https://webc.sjc.ne.jp/sakura-new>





異国の方々にも親しまれた

ひな祭り

第5回ひな祭り 令和8年3月1日(日)～3月3日(火)

春の訪れを告げるひな祭り、今年もひな祭りを開催することができました。おかげさまで第5回目となり、3日間を通してたくさんの方に足を運んでいただきました。会場には、新しく仲間入りした雛人形や、伝統の段飾り、そして個性豊かな人形たちが並びました。どの人形にも作り手の思いが込められていて、皆さんじっくりと見入っていらっしゃいました。



今年はベトナム、ネパール、イスラエルなど、さまざまな国の皆さまにもご来場いただきました。「伝統的な日本の文化」に興味深そうに眺めてくださり、私たちにとっても嬉しいひとときでした。3日目は雨になってしまいましたが、3日間で250名もの方が訪れてくださり、ひな祭りがシルバー人材センターの大切な行事として根づいてきたことを実感しています。準備から片付けまで女性委員会の皆さんが力を合わせて取り組んでくださいました。事務所の皆さんにも支えていただき、本当に心強かったです。これからも皆さんと一緒に、この行事を大切に続けていけたらと思います。ご協力くださった皆さまに、心より感謝申し上げます。来年も皆さまと一緒に、温かいひな祭りを続けていきたいと思ひます。



取材担当 / 広報委員 土田 祥子

志津北・南地区合同「地区研修会」を実施しました。

3月16(月)、[志津コミュニティセンター](#)大ホールにて志津北・南地区合同の「地区研修会」を実施し、83名の会員の皆さまにご参加いただき、盛会のうちに終了いたしました。

地区役員および1班~22班の班長の皆さまには、9時の集合から会場準備にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

研修会は10時より安全標語の唱和で開会。志津南地区・小野文雄地区長、新保暉会長の挨拶に続き、尾形和行常務理事兼事務局長によるセンター活動報告、地区役員方々が紹介された後、第1部の講演会が始まりました。



準備万端、班長の皆さん

◆第1部：講演会

オクスベストフィットネスより講師2名をお迎えし、「脳トレと運動で学ぶ、認知・運動機能向上フレイル予防」をテーマに、講演と実技指導を行っていただきました。

(1) 脳トレ用紙を使った記憶テスト



(2) 椅子を使った軽いスクワット

(3) 北島三郎「まつり」(QRコード)

に合わせた認知症予防体操



★参加者の皆さまからは「楽しく体を動かせた」「家でも続けたい」といった声が寄せられました。

◆第2部：交流会

志津北・辰巳地区長の乾杯で交流会がスタート。

食事を楽しみながらの歓談の後、志津北地区腰原副地区長によるビンゴゲームが行われました。

今年も人気の多古米が1~3等の景品として登場し、大いに盛り上がりました。

最後に「来年も元気に集まりましょう」と閉会の辞を述べ、和やかな雰囲気の中で終了いたしました。



志津北地区長 辰巳 くにか 寄稿

佐倉市民カレッジで「シルバー人材センター紹介」の講演を実施

令和8年1月22日（木）、**佐倉市立中央公民館**で開催された佐倉市民カレッジ1年生（51名）の授業において、「シルバー人材センターってなに？」をテーマに講演を行いました。

佐倉市民カレッジは、「共に学び行動する仲間づくり」と「生涯を通じた学習活動の支援」を目的に、佐倉市が運営する4年制の学びの場です。対象は市内在住の40歳以上で、4年間継続して通学できる方となっています。

今回の講演では、

1. 長くなったセカンドライフ
2. シルバー人材センターの成り立ち
3. シルバー人材センターの仕組み
4. 当センターの運営方法
5. 当センターの仕事紹介

を中心にお話ししました。

特に今回は、仕事紹介の場面で動画を組み込んだパワーポイントを使用し、参加者の皆さまに分かりやすいプレゼンテーションとなるよう工夫しました。

講演の最後には、当センターが最近取り組んだトピックスや、3月開催予定の「雛祭り展」について、写真とともに紹介しました。

受講者の約5割がシルバー人材センターを「知っている」と回答してくださり、心強く感じました。

また、私自身も市民カレッジの先輩として、和やかな雰囲気の中で楽しく講演を進めることができました。平均年齢70歳の受講者の皆さまが、再び学びに挑戦する姿勢は大変力強く、私自身も見習いたいと感じました。この講演をきっかけに、シルバー人材センターへの理解が深まり、困りごとの相談や入会への関心が高まることを願っています。



佐倉市民カレッジの特徴

4年間の体系的な学びを提供する本格的なカレッジ

1・2年生：基礎（であい課程）

- ・ 佐倉の歴史、健康、法律、環境、市政などの一般教養
- ・ 地域を知り、仲間と出会い、自分の生きがいを考える

3・4年生：専攻課程（4コース）

- ・ 福祉コース：思いやり・支え合いの実践
- ・ 歴史コース：郷土史の深い学びと史跡案内などの活動
- ・ 情報コース：情報技術・地域への情報発信
- ・ 元気コース：健康づくり・生活習慣病予防



常務理事兼事務局長 尾形 和行 寄稿

公共施設管理業務就業者を対象に職群別研修を実施

令和8年3月23日(月) 13時30分～15時30分、佐倉市シルバー人材センターワークプラザ2階会議室において、安全・適正就業委員会主催による研修を実施しました。

本研修は、お客様と会員相互の信頼関係を深めることを目的とした「接客力向上研修」です。38名が参加し、終始和やかな雰囲気の中で行われました。

近年、当センターでは、お客様とのコミュニケーションや対応に関する課題も見られることから、接客マナーの向上を目的に、職群ごとの研修を企画しました。今回はその第1弾として開催したものです。なお、第2弾についても4月に実施しました。

第1部 接客の基本

シルバー安全・適正就業委員会作成の資料をもとに、下田委員長より丁寧な説明があり、接客の基本について10項目にわたり学びを深めました。

第2部 グループワーク

実際の事事例をもとに、参加者を7グループに分け、約25分間のテーブルトークを行いました。私語や声の大きさ、公民館・図書館での携帯電話の扱い、不慣れによる対応の遅れなどの事例について、

- ・利用者はどのように感じたか
- ・なぜ苦情につながったのか
- ・何が問題だったのか
- ・どうすれば防げたか
- ・どのように行動すべきか

などを話し合い、各グループから前向きな意見が数多く発表されました。



■ 研修のまとめ(尾形事務局長)

本日の事例から分かるのは、クレームは「特別なミス」ではなく、ちょっとした配慮不足から生まれるということです。皆さんの仕事は、市民の方々と直接接する大切な役割を担っています。「感じの良い対応だった」と思ってもらえることが、施設全体の評価向上につながります。

また、新しい仕事に就く際、不安を感じることもあると思います。シルバー人材センターでは、会員に寄り添いながら不安を軽減し、顧客満足度の向上を目指して、職群ごとの研修を実施しています。

本日の学びは「接客」から一歩進んだ「接客」です。お客様だけでなく、会員同士でも思いやりの心を持ってコミュニケーションを図り、明るく楽しく社会の一員として活動していきましょう。

広報委員 葛西 雅子 寄稿

千成自治会活動のご紹介

佐倉市内の自治会で「団地活性化モデル地区」に指定され、行政と連携しながら積極的に地域づくりを進めている千成自治会。その取り組みについて、枝廣龍夫自治会長にお話を伺いました。

千成自治会には、約1,000世帯のうちおよそ90%のご家庭にご加入いただいております。

自治会の目標として『近隣と助け合う明るい街』『ふれあいのある楽しい街』『清潔で犯罪と火災のない街』を掲げています。特に高齢化社会に対応して、いち早く福祉への取り組みを行っています。

- その活動について、[千成ふれあいブログ](#)でご紹介しています。
- 年に4～5回発行している自治会報を[千成電子掲示板](#)としてネット上にもアップし、回覧板と並行してスマホでも各種サービスについて情報が見れるようにしております。
- [千成自治会公式サイト](#)では、「千成ふれあいサロン」（月2～3回）、「千成ふれあい体操」（月2回）、「千成ふれあいサービス」（買い物バス月3回）、庭の草刈りなどのサービスを随時受け付けています。



詳細は画像クリックで

- 千成自治会員の方は毎月第1水曜、第3水曜、第5水曜の午前10時～12時にせんなり村（千成幼稚園に隣接）で参加費100円で、お茶やお菓子を頂きながら歌ったりお話したりして楽しむことができます。

[2026年1月7日の「ふれあいサロン」にお邪魔しました。](#)



- 福祉に対する要望を収集するために、「福祉ボランティア意見交換会」を年2回実施して、福祉サービスの改善に取り組んでいます。
- 自治会員限定で発行している「千成べんり帳」には会員名簿や住宅地図を掲載、自治会サークル活動なども紹介しています。
- 「千成ふれあって元気の会」（健康を考える会）では、東邦大学医療センター佐倉病院、佐倉中央病院より医師を講師に招いて健康に関する講演会を定期的に行っています。
- 地域の交流の場として、「[NPO法人せんなり村](#)」で居酒屋「みっちゃん」が月に2回程度開催されて賑わっております。

- 昨年は、第50回の夏祭りを2日間実施し大神輿、子供神輿、山車、盆踊り、屋台等に加えて、記念花火打ち上げ、記念Tシャツ、記念タイムカプセル企画を実施し、西田佐倉市長にも参加いただき、子供からお年寄りまで多くの世代の住民の参加で盛り上がりました。



<https://www.1000nari.jp/2025/07/20252.html>

情報メディアとしてのコミュニケーションツール



- 今後の課題として、災害発生時の共助の仕組み、空き家対策、役員幹事の確保、野良猫対策などがありますが、安否確認タオルの実施(現在40%が参加)、助け合い台帳(災害時要支援者台帳)の作成、役員の負担軽減として年に一回の集金作業と改善をすすめています。

このほかに空き家対策セミナーの実施、猫の避妊手術や猫シェルターの設置支援などを検討しています。町内の皆さんが互いに挨拶をかわせる環境づくりを行うことにより、安心安全でふれあいのある住みやすい街になるように努めてまいりたいと思います。

- 千成自治会 紹介サイト

千成電子回覧板 <https://www.1000nari.jp/>

千成ふれあいブログ <https://fure-i.blogspot.com/>



取材担当 / 広報委員 秋元 正之